

現状と課題

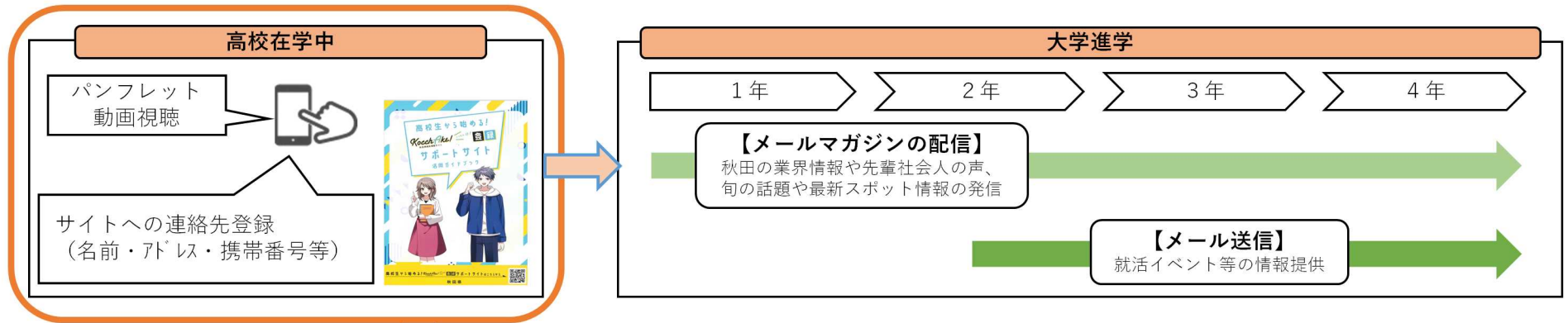
- ・ 社会減は近年抑制傾向にあるものの、転出者の約4割は依然として若年層（15～24歳）が占める状況
- ・ 若年層の県外転出理由は進学や就職がメインであり、この層の県内定着・回帰の促進のために更なる取組が必要
→ 進学等により県外へ転出した学生に、秋田の就活や魅力等に関する情報を届けていく必要がある

現在の取組

秋田とつながる就活応援事業

大学等進学前の高校生に県就活サイト「こっちゃけ」に登録してもらい、進学後継続的に秋田の情報発信を行う

- ・ 高校在学中に進学予定者の連絡先情報を把握することで、県外転出者を含む大学生等への直接的な情報発信手段を確保
- ・ 就活情報のみならず、秋田の旬の話題や最新スポット情報などを発信することで、県外にいても秋田とのつながりを感じてもらう
- ・ こっちゃけの認知度向上や更なる活用にもつなげていく



教育庁への依頼事項

- より多くの高校生に登録してもらい、秋田とのつながりを保ち、関心を持ち続けてもらうため、
- ・ 学校現場における事業への理解と生徒に紹介する機会（ホームルームの年間実施計画への盛り込みなど）の確保
 - ・ 保護者に対する事業紹介機会の確保（PTAなど）